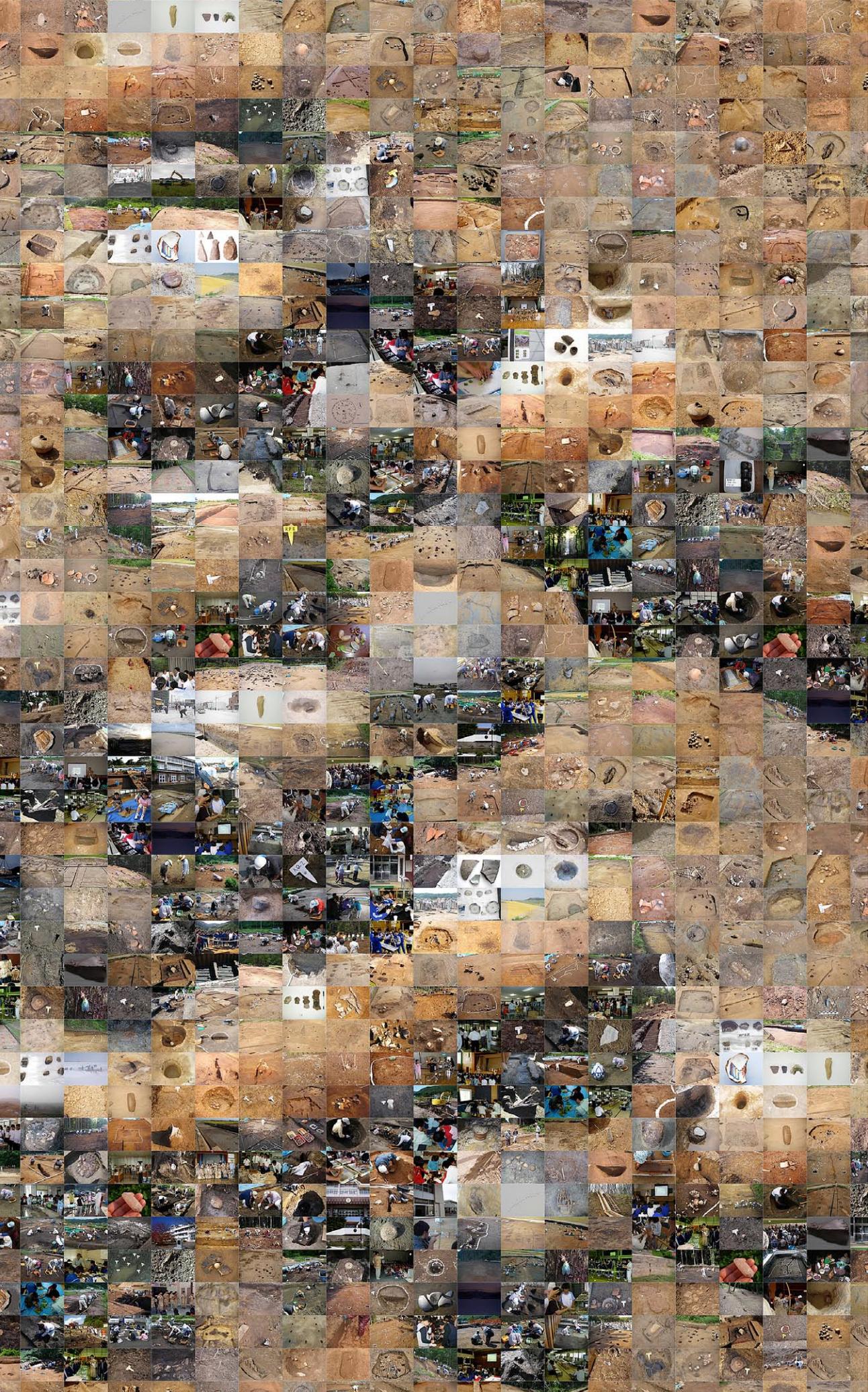


平成19年度

# 山形県埋蔵文化財発掘調査報告会

平成十九年十二月九日(日)  
山形国際交流プラザ  
山形ビッグウイング



●主催 財団法人山形県埋蔵文化財センター ●共催 山形県教育委員会  
 ●後援 山形市教育委員会 上山市教育委員会 中山町教育委員会 寒河江市教育委員会 米沢市教育委員会 南陽市教育委員会 鶴岡市教育委員会  
 朝日新聞山形総局 毎日新聞山形支局 読売新聞山形支局 産経新聞社山形支局 河北新報山形総局 (株)共同通信社山形支局 時事通信社山形支局 山形新聞・山形放送  
 荘内日報社 米沢新聞社 置賜日報社 NHK山形放送局 山形テレビ テレビユー山形 さくらんぼテレビ 株式会社ケーブルテレビ山形 酒田ケーブルテレビ  
 株式会社ニューメディア エフエム山形 VigoFM78.8MHz 山形コミュニティ放送株式会社

# 平成 19 年度山形県埋蔵文化財発掘調査報告会

## 次 第

## 目 次

1 回目 10:00 ~ 11:30      2 回目 13:30 ~ 15:00  
(午前と午後とも同じ内容で行います。)

### 報 告 内 容

- 1 平成 19 年度発掘調査の概要
- 2 岩崎遺跡
- 3 川内袋遺跡
- 4 上の寺遺跡
- 5 埋蔵文化財センターの仕事紹介
- 6 川前 2 遺跡
- 7 天王遺跡
- 8 堤屋敷遺跡

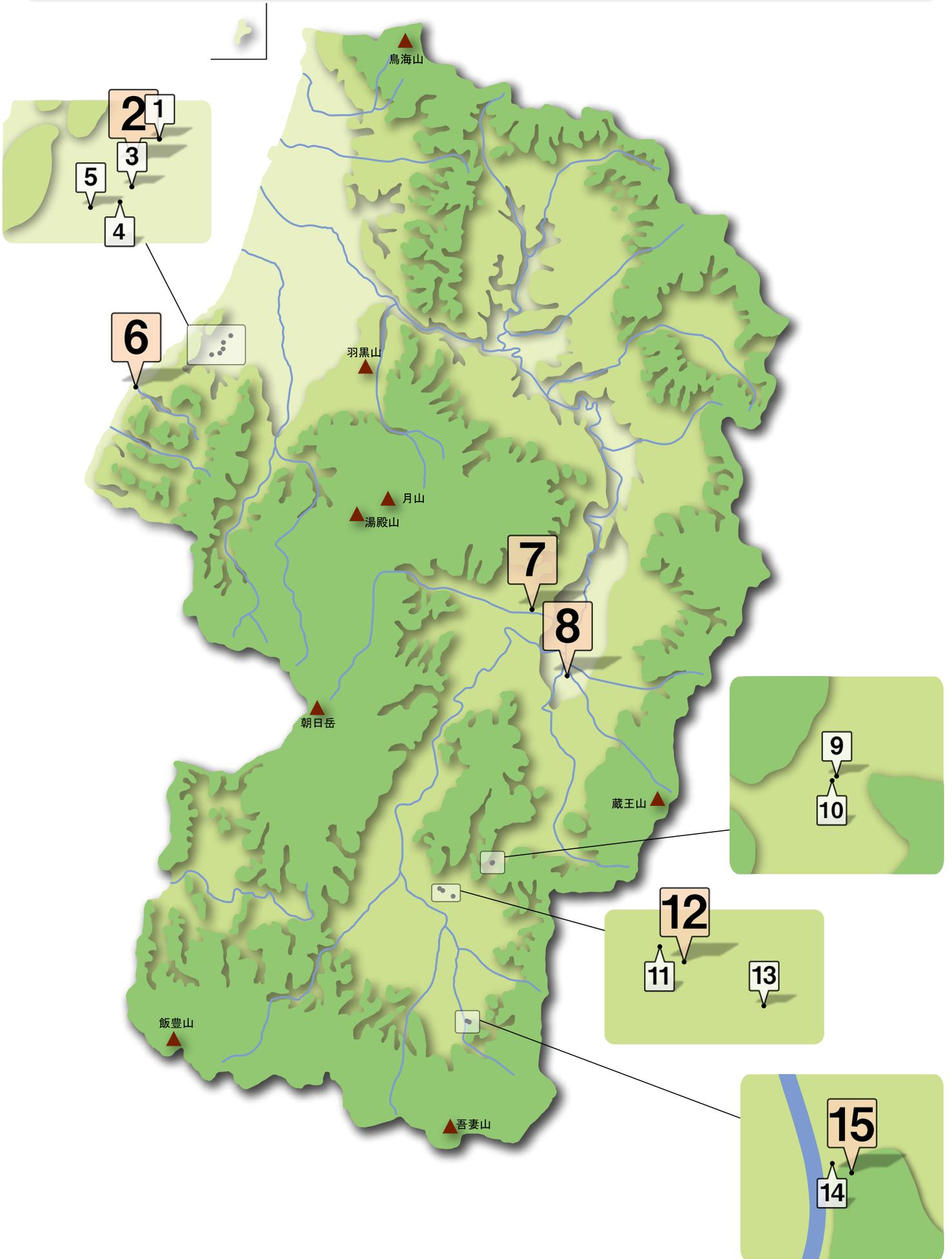
|                      |    |
|----------------------|----|
| 次第・発掘調査遺跡一覧……………     | 2  |
| 平成 19 年度発掘調査遺跡位置図 …… | 3  |
| 岩崎遺跡……………            | 4  |
| 川内袋遺跡……………           | 5  |
| 上の寺遺跡……………           | 6  |
| 川前 2 遺跡……………         | 7  |
| 天王遺跡……………            | 8  |
| 堤屋敷遺跡……………           | 9  |
| 矢馳 A 遺跡……………         | 10 |
| 玉作 1 遺跡……………         | 11 |
| 埋蔵文化財センターの仕事紹介……………  | 15 |

## ■平成 19 年度 山形県埋蔵文化財センター発掘調査遺跡一覧

| 遺跡名                  | 所在地                 | 時代                 | 種別         | 調査面積    | 調査期間                     | 事業名            |
|----------------------|---------------------|--------------------|------------|---------|--------------------------|----------------|
| 1 矢馳 A 遺跡<br>(第 4 次) | 鶴岡市矢馳<br>字下矢馳       | 古墳・奈良・<br>平安・中世    | 集落         | 3,300㎡  | 5/9~ 9/14                | 日本海沿岸東北自動車道    |
| 2 岩崎遺跡<br>(第 2 次)    | 鶴岡市下清水<br>字岩崎       | 古墳・奈良・<br>平安       | 集落<br>官衙関連 | 1,000㎡  | 9/3~ 11/7                | 日本海沿岸東北自動車道    |
| 3 玉作 1 遺跡<br>(第 3 次) | 鶴岡市大字中清水<br>字玉作     | 弥生・古墳・<br>奈良・平安    | 集落         | 1,000㎡  | 5/9~ 7/11                | 日本海沿岸東北自動車道    |
| 4 興屋川原遺跡<br>(第 4 次)  | 鶴岡市田川<br>字興野川原      | 古墳・平安              | 集落         | 1,200㎡  | 7/2~ 8/31                | 日本海沿岸東北自動車道    |
| 5 行司免遺跡<br>(第 4 次)   | 鶴岡市水沢<br>字行司免       | 奈良・平安              | 墓地<br>祭祀跡  | 2,400㎡  | 6/4~ 11/6                | 日本海沿岸東北自動車道    |
| 6 川内袋遺跡              | 鶴岡市五十川<br>字川内袋      | 縄文                 | 集落<br>狩猟場  | 6,500㎡  | 5/8~ 12/14               | 日本海沿岸東北自動車道    |
| 7 上の寺遺跡              | 寒河江市大字慈恩寺<br>字上の寺   | 縄文・奈良・平安・<br>中世・近世 | 集落<br>寺院   | 3,650㎡  | 5/16~ 10/26              | 農免農道整備         |
| 8 川前 2 遺跡<br>(第 3 次) | 山形市大字中野目<br>中山町大字長崎 | 古墳・奈良・<br>平安       | 集落         | 3,500㎡  | 5/14~ 10/12              | 須川河川改修(下流部)    |
| 9 天矢場遺跡              | 南陽市川樋<br>字天矢場       | 縄文・<br>中世・近世       | 集落         | 4,500㎡  | 5/10~ 7/12<br>10/1~ 11/6 | 国道 13 号上山バイパス  |
| 10 加藤屋敷遺跡<br>(第 2 次) | 南陽市川樋<br>字加藤屋敷      | 縄文・奈良・<br>平安・近世    | 集落跡        | 1,600㎡  | 7/17~ 9/28               | 国道 13 号上山バイパス  |
| 11 上大作裏遺跡<br>(第 2 次) | 南陽市大字砂塚<br>字大作前     | 縄文・弥生・<br>平安・中世    | 集落         | 4,000㎡  | 5/10~ 7/27               | 国道 113 号赤湯バイパス |
| 12 天王遺跡<br>(第 2 次)   | 南陽市大字漆山<br>字天王      | 古墳・中世              | 古墳<br>集落   | 6,500㎡  | 5/10~ 10/19              | 国道 113 号赤湯バイパス |
| 13 檜原遺跡<br>(第 3 次)   | 南陽市大字中落合<br>字檜原     | 平安・中世・<br>近世       | 集落         | 4,500㎡  | 5/15~ 7/31               | 国道 113 号赤湯バイパス |
| 14 下屋敷遺跡             | 米沢市万世町桑山<br>字下屋敷    | 縄文・中世              | 集落跡        | 3,000㎡  | 9/25~ 11/30              | 東北中央道米沢 IC 付工事 |
| 15 堤屋敷遺跡<br>(第 2 次)  | 米沢市万世町桑山字<br>堤屋敷    | 縄文・平安・<br>中世・近世    | 集落         | 10,000㎡ | 5/8~ 11/12               | 東北中央道米沢 IC 付工事 |

■表紙写真 センターでは平成 14 年から発掘調査の様子をホームページで公開しています。これまで掲載された数千枚の写真から、約 800 枚を並べました。目を細めて離して見ると、この資料のどこかにある写真に見えてきます。どれか探してみましょ。

平成 19 年度 山形県埋蔵文化財センター発掘調査遺跡位置図



遺跡は、鶴岡市街の中心から西に広がる田園地帯にある古墳時代から平安時代の遺跡で、奈良・平安時代の役所の機能を持った施設と考えられます。

調査では、主に奈良・平安時代の掘立柱建物や井戸などが見つかりました。また、調査区の南端には掘立柱列による堀があり、昨年見つけた倉庫や建物もこの堀の内側にあります。

さらに、円形や風字形をした碇すずりが見つかったことから、役所の存在を裏付けるものと考えられます。さらに井戸からは祭祀に使った細い板状の齋串さいしが見つかりました。その他、土器類も見つっていますが、いずれも8世紀後半から10世紀代に作られたものです。

以上のことから、ここは役所の機能を持った施設であったと考えられます。近くを流れる大山川を利用し、集めた税や物資を収納・輸送する拠点だったのかも知れません。（水戸部秀樹）



掘立柱建物と柱の列を白線で示しています。



井戸枠に横板を使ったもの（左）と縦板を使ったもの（右）が見つかりました。

遺跡は、出羽山地から日本海に注ぐ五十川右岸の舌状に張り出す丘陵の先端にある、縄文時代前期（約 5,000 ～ 5,500 年前）の集落です。

**A 区** 縄文時代前期の<sup>たて</sup>竪穴住居 4 棟と土坑、柱穴、ピット（小穴）、後期の土坑 1 基が見つかります。住居には土間の床が 3 回作り変えられているものもあり、炉には土器が埋められていました。他に直接地面で火をたい<sup>じしやうろ</sup>た地床炉も見つかります。

また、高台にある B・C 区から崩れてきたと見られる多量の土砂と、大小の石も多数見つかります。

**B・C 区** 落とし穴や貯蔵穴、炉、柱穴、ピットが多数見つかりました。土器や石器が捨てられて埋まった部分に<sup>おとしあな</sup>陥穴が掘り込まれている例もありました。

見つかった土器のほとんどは縄文時代前期の<sup>ふかばちがた</sup>深鉢型土器で、石器には<sup>せんとうき</sup>尖頭器、<sup>いしさじ</sup>石匙、<sup>いしべら</sup>石篋、<sup>せきぞく</sup>石鏃、<sup>ませい</sup>磨製石斧、<sup>せきすい</sup>石錘、<sup>いしさら</sup>石皿、<sup>すりいし</sup>磨石があります。装身具の<sup>けつじょう</sup>玦状耳飾りも見つかりました。

出土品の数は予想を大幅に超えておりますが、その量に比べ、竪穴住居の数が少ないのは、調査した地区の周辺に当時の村の中心部があったためと考えられます。ほかに、高台部分の遺構が開発により削られたことにもよると考えられます。

（齊藤主税）



高台部分（B・C区）と、その下段（A区）が調査区です。



A区で縄文土器や石器などが見つかった様子です。

遺跡は、国指定重要文化財の薬師三尊やくしさんぞんや十二神将じゅうにしんしょうで有名な、寒河江市じおんじの慈恩寺の近くにありま

す。慈恩寺周辺で小規模な発掘調査は行われてきましたが、今回は初めての大規模な発掘調査です。調査の結果、今の慈恩寺が建てられる以前に、上の寺遺跡に寺院があったことがわかりました。

慈恩寺は神亀元年じんき（724）、行基ぎよきの開山と伝えられます。平安時代には摂関家藤原氏や平泉藤原氏、鎌倉・室町時代には寒河江荘地頭の大江氏、戦国時代から江戸時代の初めにかけては山形の最上氏の保護を受けて繁栄しました。

鎌倉時代から室町時代にかけて、遺跡の周辺には薬師三尊や十二神将を納めた薬師堂、聞持院もんぢいんといった、お堂があったと伝えられており、土塁どるいに囲まれた大きな平場が、その名残りをとどめています。

遺跡は山の斜面にあり、サクランボなどの果樹園が広がっています。一帯には斜面を平坦に利用するための、段々畑状の地形が作られ、中央には、「箕輪道」みのわみちという古い道が通っていました。

鎌倉時代から室町時代を中心とした遺構・遺物が見つかり、特に遺物は、瀬戸や、越前、珠洲などの各地で焼かれた焼き物で、その他、中国産の青磁や白磁などもあり、当時の豊かな暮らしぶりを今に伝えています。さらには、縄文時代や奈良時代、平安時代の遺物も出土しています。



中央に走る「箕輪道」の両側に、多くの平場が連続している様子が良くわかります。

また聞持院があったとされる場所の近くからは板碑いたび・宝篋印塔ほうきょういんとう・五輪塔ごりんとうが出土し、寺院の存在を裏付けるものとして注目されます。

今後、遺物の検討や、現在の地形と地面の下の地形を比較することによって、縄文時代から現代にかけての、人々の生活の様子が明らかになることが期待されます。（高桑 登）



同じ溝から石塔がまとまって出土しました。上から板碑・宝篋印塔・五輪塔です。15世紀頃に作られたものと考えられます。

遺跡は、古墳時代初め頃（4世紀代・1,600～1,700年前）の集落です。平成14・15年の調査では、奈良・平安時代の集落が見つかり、さらに、その下の層から古墳時代の住居が6棟見つかりました。今年の調査では、土器を使ったお祭りの様子がわかってきました。

竪穴住居10棟、溝1条、土坑17基、ピット（小穴）91基、畑、掘り込みを伴わない土器の集中区などが見つかりました。古墳時代の

住居は調査区の南側から中央付近の須川寄りの微高地で見つかり、遺物の集中地区は調査区の北西側から中央西側にかけてのやや低い場所にあります。中央には、東西に横断した河川があります。平安時代の住居が河川に削られていることから、それ以降の河川と考えられ



調査区の奥に須川が流れています。中央に河川跡が見つかりました。中央の平行した細長い溝は古墳時代の畑の跡です。



祈願に使われた土器がまとめて19点出土しました。

ます。須川の近くでは川幅を広げ、北側に流路を変えていたことがわかりました。

遺跡のある須川下流域は、最上川との合流点近く、白川や立谷川も合流し、水運の便に適した地域といえます。しかし、当時は現在のような高い堤防がなかったことから、増水時には洪水の危険にさらされていたと考えられます。冠水で堆積したと思われる砂が古墳時代の面を広く覆っており、その上に平安時代の村がつくられていました。

これらの村は、水運のかなめの地域として発達した村と考えられます。また、古墳時代の土器を意図的に配置し、火を焚いた跡が随所で見つかりましたが、これは洪水を回避するための祈願や儀式が頻繁に行われた結果と考えられます。古墳時代の村が営まれた期間は約100年ほどですが、見つかった土器は100箱に達しており、それだけ土器を使った祈願などが繰り返されていたと考えられます。

（小林圭一）

遺跡では、円形の古墳もしくは<sup>しゅうこうぼ</sup>周溝墓と考えられる大きな溝と、中世の屋敷と集落が見つかり、中世の<sup>くよう</sup>供養に使われた<sup>いたび</sup>板碑が出土しています。遺跡内には現在も神社があり、古墳時代から、中世、さらに現代まで続く宗教的な空間であったことがわかりました。

**古墳時代** 古墳は3基の円形に<sup>めぐ</sup>巡る溝として見つかり、4世紀代（今から1600年前）のものと考えられます。

土を盛った<sup>ふんぎゆう</sup>墳丘や墓穴を確認することはできませんでしたが、円墳、あるいは円形周溝墓の可能性ががあります。溝の底からは古墳時代前期の<sup>はじき</sup>土師器（<sup>きだい</sup>器台など）、上の層からは奈良・平安時代の<sup>はじき</sup>土師器・<sup>すえき</sup>須恵器が見つかりました。

**中世** <sup>ほったてばしらたてもの</sup>井戸や掘立柱建物が数多く見つかりました。調査区北東では、柱穴の底に何枚も重なった厚手の<sup>そばん</sup>礎板が見つかりましたが、これは、建物の柱が沈まないための工夫と考えられます。

この建物群は大きな堀で囲まれ、ここには

「テンノウさま」を<sup>やしきがみ</sup>屋敷神とする、方形の屋敷があったものと考えられます。堀の外側には人々が住む場と、畑などが広がっていた様子がわかりました。

また、井戸も建物にともなって、十数基確認され、中には、大きな<sup>まげもの</sup>曲物が井筒として3段に組まれたものもあります。

出土品は、13～14世紀頃の<sup>すえきけい</sup>須恵器系陶器、青磁などの陶磁器、木簡や曲物などの木製品、砥石、<sup>がんでんがた</sup>板碑（<sup>かんでんがた</sup>竈殿型）が見つかりました。（高橋一彦）



川跡で見つかった板碑です。置賜地方に多い家型をした<sup>かんでんがた</sup>竈殿型板碑です。



円形の溝が調査区西端の古墳です。杉の木の根元には「テンノウさま」と呼ばれる小さな<sup>ほこら</sup>祠があります。

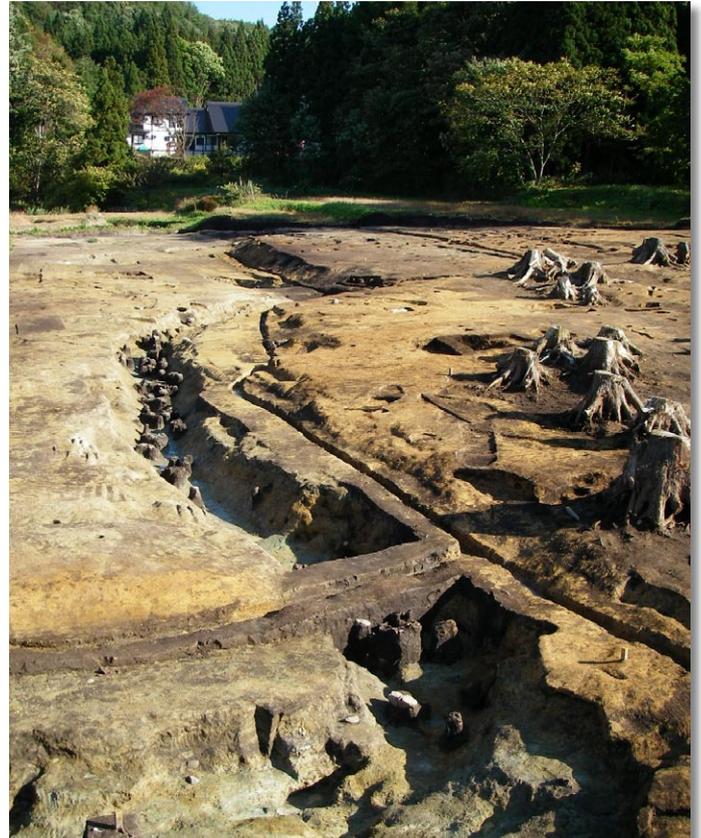
遺跡は、米沢市の南東部、<sup>ばんせい</sup>万世地区にあります。第1次調査では、掘立柱建物を中心とした中世・近世の集落であることが明らかになりましたが、今回の第2次調査では、置賜地方の15～16世紀の中世集落の全体像、近世の集落、縄文時代・平安時代の遺構の存在が明らかになりました。

遺跡では、特に中世の集落が注目されます。集落は、外側を幅約2mの溝で囲まれ、内側には掘立柱建物が繰り返し建てられています。このような建物群は、4地点で認められ、さらに、竪穴建物も1棟見つかり、床面に焼土や炭が見られることから、工房などの役割が考えられます。

また、集落の外側を囲む溝からは、15～16世紀と考えられる生活で用いられた道具が大量に捨てられていました。主な遺物として内耳土鍋<sup>ないじどなべ</sup>、甕<sup>かめ</sup>、播鉢<sup>すりばち</sup>などの陶器や土器、中国産の青磁碗、漆器の椀<sup>わん</sup>や皿<sup>まげもの</sup>、曲物・鋤<sup>すき</sup>などの木製品、砥石や石臼などの石製品、刀や貨幣などの金属製品が見つかりました。



内耳土鍋が見つかった様子です。外側には煮炊きに用いられときの<sup>すす</sup>煤が付いています。



中世の集落を囲む大溝です。15～16世紀の遺物がたくさん捨てられていました。

特徴的な遺物は、内側に3ヶ所<sup>とって</sup>の把手が付いた内耳土鍋で、最も多く出土しており、この遺物は、当時の置賜地方を支配していた<sup>だて</sup>伊達氏の領地内で多く出土することが指摘されています。また、遺跡の南にそびえる<sup>はやさかやま</sup>早坂山の山頂や尾根筋には、早坂山館<sup>たて</sup>などの伊達氏に関する中世の山城があり、この集落とのかかわりが注目されます。

江戸時代になると、中世の集落がある地点に遺構は見つからず、やや標高が低い地点に集落が営まれます。

その他の時代の遺構では、縄文時代の<sup>おと</sup>落し穴<sup>あな</sup>が10基見つかり、これらは、列をなして配置され、底面には逆茂木<sup>さかもぎ</sup>の痕<sup>あと</sup>が認められます。また、平安時代の遺構では、竪穴住居1棟と溝が見つかりました。

(菅原哲文)

遺跡は、鶴岡市特産のだだちゃ豆畑と水田の中にあります。6万㎡にわたる広大な遺跡の中央部を南北に横切るように、昭和62年から平成19年まで4回にわたり、2万㎡の発掘調査が行われました。その結果、遺跡の北側では奈良・平安時代の川と村、中央には中世の溝、南側では古墳時代の大きな村の姿が明らかになりました。

**古墳時代** 村の南側を区切っている南方向に流れる川跡の自然に埋まった土の中から、つき たかつき かめ 坏・高坏・甕などの土師器がたくさん見つかりました。

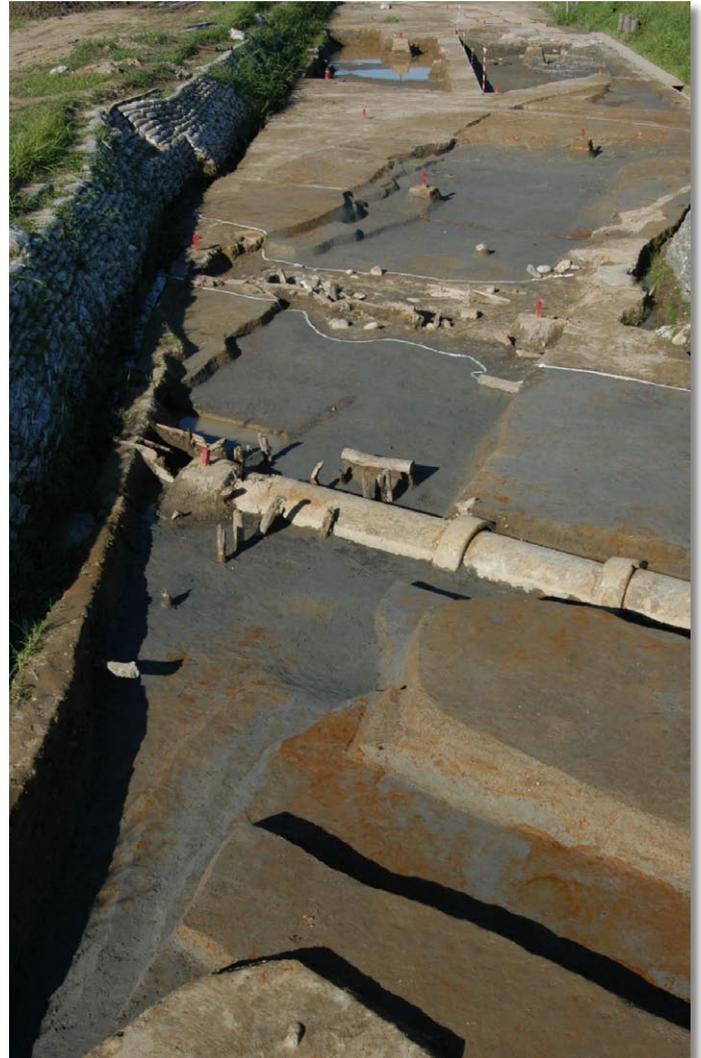
また、川の東の60cm下の炭の粒を多く含む層からは、赤く焼けた土の広がりとともに、はじき つぼ こしき 土師器の坏・高坏・甕・壺・甑などがまとまって見つかりました。同じ古墳時代でも川で見つかったものより古い時期の特徴をもっています。

**奈良・平安時代** 昨年調査した川と竪穴住居の続きが見つかるとともに、ここからは、土師器の甕や須恵器の坏・ふた 蓋のほか、もくわん 木椀などが見つかりました。

**中世** やかた 館を区画していた溝の南東角が見つかりました。館の範囲は約50m四方で、溝の外側には井戸があり、四角に板を縦に打ち込んだ井戸枠が残っていました。

時代はまだわかりませんが、調査区の南側で、板を一行に並べて打ち込んだ板塀列が見つかりました。

(吉田 満)



古墳時代の川の跡です。



古墳時代のいろいろな形の土器が、まとまって見つかりました。

遺跡は、玉造りの工房があったと考えられる古墳時代の集落です。今年で3回目の調査になり、集落内に河川、井戸、溝、柱穴などが見つかりました。

河川は平成17年に行った1回目の調査で見つかったものに続きます。溝は幅70～90cm、深さ15～25cmと浅く、投げ捨てられた古墳時代の土器が見つかりました。溝のすぐ隣にある井戸は、円形で深さ2m以上掘られていました。

古墳時代の土師器、中世・近世の陶磁器、貨幣、木製品、管玉くだたまの未成品みせいひんなどが見つっています。管玉の製作途中で出た未成品の破片が出土したことから、地名からも分かるように、玉造りが行われていた可能性があります。しかし、工房跡やその痕跡を見つけることはできませんでした。(深澤 篤)



溝から古墳時代の土器が見つかりました。

遺跡は、古墳時代、奈良・平安時代の集落たてあなたてものです。古墳時代のほったてばしらたてもの竪穴建物や平安時代の掘立柱建物、柱、溝などが見つかりました。

昨年までに、古墳時代の土器がはいき廃棄された溝のほかに、奈良・平安時代の、掘立柱建物が整然と数棟ずつ立ち並び、土器や鉄滓てっさい(鉄

を生産するときに出る廃棄物)が大量に廃棄された河川や見つっています。奈良・平安時代には、集落ではなく何らかの公的な施設であった可能性があります。

今年、一昨年に見つかった、古墳時代の土器がまとまって出土した落ち込みの続きが見つかりました。今回、その落ち込みの南側の壁面に、カマド跡のような張り出しが見つかり、竪穴建物であることがわかりました。後世に上面が削られ、柱穴も見つからないことから、建物の構造は特定できない状態ですが、土器から古墳時代中期(5世紀頃)の建物と考えられます。

つぼ壺などの土器の他、赤色顔料がんにょうが付着した丸い石が2個見つかりました。石で赤い鉱物を磨りつぶして、顔料を作っていたのでしょうか。(齋藤 健)



古墳時代の壺と顔料が付着した石が出土しました。

遺跡は、奈良・平安時代の墓地です。調査では、木棺墓<sup>もっかんぼ</sup>、土坑墓<sup>どこうぼ</sup>、火葬跡<sup>かそう</sup>などが見つかっており、墓地であったことがわかっています。さらに、長さ 70cm と規模の小さい木棺墓に似た木の組み方をする遺構も見つかりました。

また、焼けて変色した土器や、灯明皿<sup>とうみょうざら</sup>として使用されていた土器が見つかりましたが、これらは食器や保存容器以外の用途に使われたと考えられ、通常の集落から見つかる土器とは様子が異なります。このことから、遺跡ではお墓<sup>ともの</sup>に伴う祭祀<sup>さいし</sup>を行っていた可能性があります。他にも加工された石や、儀式<sup>ぎしき</sup>で使用されたと考えられる木製品など、祭祀の場所として機能していたことを裏付けるような遺物が見つかりました。（三浦勝美）



黒く炭の集中しているところから、多くの遺物が見つかりました。

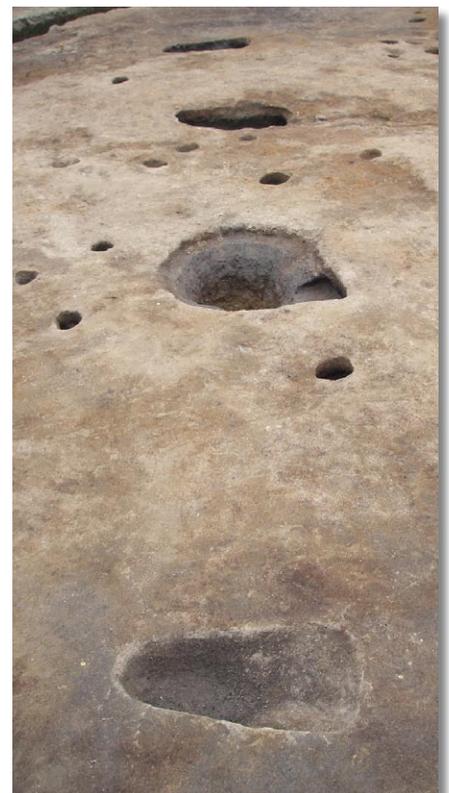
遺跡は、白鷹丘陵<sup>しらたか</sup>と奥羽山脈から挟まれた谷状地形に立地しており、標高は約 300m で東に向かって緩やかに傾斜しています。近くには小岩沢遺跡<sup>こいわざわ</sup>や岩谷堂遺跡<sup>いわやどう</sup>などの縄文時代の遺跡が点在することで知られています。

遺跡の南東部で 4 基の落とし穴<sup>おとし</sup>が見つかりましたが、落とし穴の大きさは約 150 × 80cm ほどで、底が広く掘り込まれています。いずれも同じ向きで等間隔に掘られており、遺跡の東側を北に流れる前川<sup>まえかわ</sup>の水を求めて下りて来る動物を捕まえるために、ここに掘られたのでしょう。

土器の特徴から、ここを拠点に狩猟を行っていた人々がいたのは、縄文時代中期中葉、今から約 4,500 年前頃のように見えます。

それ以降の時代では、中世から近世にかけてと考えられる掘立柱建物<sup>ほったてばしらたてもの</sup> 3 棟や、井戸 8 基、溝 10 条が見つかりました。多くの遺構の向きが、ほぼ同じことが注目されます。

中国産の青磁碗<sup>せいじ</sup>・青花皿<sup>せいひ</sup>、新潟・福島・佐賀県で焼かれた陶磁器など、中世・近世における地域交流を知る貴重な資料も見つかりました。（須藤孝宏）



4 基の落とし穴が並んでいます。

遺跡は、鷹戸山と岩部山に囲まれた緩やかな傾斜地にあります。奈良・平安時代の土坑や溝、幅2.5m、深さ1.5mの川が見つかりました。蓋・坏・壺・甕などの土器、柄杓・皿・下駄、曲物などの木製品が数多く見つかり、中でも柄杓は県内でも出土が少なく、形は割った瓢箪に木の柄を刺したものです。

また、今から約3,000～3,500年前の縄文時代後期末の竪穴住居も見つかりましたが、形状は円形で中央に石組の炉があるものです。その他には、瘤付きの縄文土器や、携帯用の石器なども見つかりました。

遺跡の西側にある縄文時代晩期の岩谷堂遺跡との関連がうかがわれます。

2年にわたる調査の結果、縄文から近世までという長い間、人々がこの地で生活を営んでいたことがわかりました。(氏家信行)



たくさんの土器や木製品が出土した川跡

遺跡は、縄文時代早期末から前期初めの集落で、今から約6,000～6,500年前の竪穴住居が見つかりました。北方の山地に、縄文時代早期の集落として知られる大野平遺跡がありますが、平野部でこの時期の住居が発見

された例は少なく、注目されます。

住居からは、土器のかげらを丸く整形し、穴をあけて再利用した有孔円板が見つかり、その他、木の実などの食料を貯蔵した袋状の穴もありました。

また、住居に近い小判形の墓穴から、副葬品と考えられる矢じりが、14点まとまって見つかりました。

さらに、平安時代の竪穴住居、中世(鎌倉・室町時代)の井戸と敷地を区画した溝も見つかっています。

これまでの調査から縄文、弥生、奈良・平安、中世の4つの時代にわたる集落であることがわかりました。一帯は、東方に流れていた河川を背景として、古来より住みよい土地だったといえます。(須賀井新人)



縄文時代前期の貯蔵穴を持つ竪穴住居です。

遺跡は、南陽市の西、沖郷地区にあり、中世から近世の集落です。調査では、柱穴・土坑・溝など約650基の遺構が見つかりました。中でも最も多いのは柱穴で、丸くて小さい穴の特徴から、中世から近世にかけての掘立柱建物があつたと推定できます。

土坑の多くは、1m前後の円形で浅く、まとまって見つかったところと、ほとんどないところがあり、土地の利用に違いがあつたようです。溝には大小の規模があり、大きく深い溝は、南北方向に掘られ、大きさは幅4m、深さ80cmです。埋まった後に再び浅く掘り返されていました。南北の溝に交わるように西側に4条、東側に2条の浅い東西方向の溝があります。浅い溝からは、近世の陶磁器が見つかりました。

調査区東側の微高地では平安時代の遺構や

土器もありますが、南北溝の西側では、全くありません。中世以降に始まった開拓が、近世に再び手を加えられ、さらに近代まで引き継がれてきた様子を知ることができました。

(伊藤邦弘)



北西の上空から檜原遺跡を見えています。

遺跡は、鎌倉時代から室町時代の集落で、遺跡から東へ約150mの地点には堤屋敷遺跡、南には早坂山a遺跡など、周囲に中世の

遺跡が多く分布しています。

調査では、井戸3基、溝、土坑、柱穴など、中世を中心とした遺構が見つかりました。また、縄文土器が少量出土しましたが、縄文時代の遺構は見つかりません。

特に注目される遺構は井戸で、その規模は一辺が約1.5mの四角形で、3基とも底面付近から、板材や杭を用いて四角形の井戸枠が見つかりました。この井戸を用いていた建物ははっきりしませんが、調査区外の北側に建物等が存在していた可能性があります。

井戸の中から曲物の柄杓、鎌倉時代から室町時代の中国産の青磁碗、地元で製作されたと考えられる陶器甕などが出土しました。

遺物の出土量が少なく、時期が限定的であることから、小規模で短期間に営まれた集落であったと考えられます。

(菅原哲文)



四角に井戸枠を組んだ中世の井戸

# 埋蔵文化財センターの仕事紹介

## 発掘調査

建物建設や道路整備などの開発にかかった遺跡について、発掘調査を実施し、遺跡を記録保存します。

### 発掘作業

遺跡に調査事務所を置き、発掘調査を行います。



### 整理作業

調査の出土品・記録を埋文センターに持ち帰り、報告書にまとめます。



#### ①洗浄

出土品についた汚れを、水で洗います。



#### ②復元

割れて出土した土器を、もとの形に組み立てます。



#### ③実測

出土品を測り、図面として記録します。



#### ④撮影

出土品を撮影し、写真として記録します。

#### ⑤保存処理

木製品や金属製品は、傷まないように科学的な処理を行います。



#### ⑥報告書

調査の記録を本にまとめ刊行します。報告書は、図書館や大学で公開・活用されています。



## 研究・普及

発掘調査の内容を研究し、その成果を公開します。埋蔵文化財の情報を県民に提供し、文化財に対する理解を広めるように努めています。



小学生のセンター見学



小学校への出前授業



山形空港の企画展示

# 山形の遺跡と日本・世界の歴史

| 時代        | 平成19年度発掘調査遺跡 | 県内の主な遺跡  | 日本の歴史(太字は県内の歴史)  | 世界の歴史  |   |
|-----------|--------------|--|--|--|---|
| 約8万年前     | 旧石器時代        | 上屋地遺跡(飯豊町)<br>越中山遺跡(鶴岡市)<br>富山遺跡(寒河江市)<br>金谷原遺跡(寒河江市)<br>弓張平B遺跡(西川町)   | 日本列島に人がすみつき石器を使って狩猟などをして生活する<br><b>山形に人が住み、良質な頁岩で作られたナイフを使う</b>  | 原人<br>旧人<br>新人   |   |
| 約10,000年前 | 縄文前期         | 八森遺跡(酒田市)<br>日向洞穴(高島町)   | 土器づくり・弓矢の使用がはじまる   | 農耕牧畜が起こる   |   |
| 約6,000年前  | 縄文中期         | いるかい遺跡(尾花沢市)<br>にひやく寺遺跡(山形市)   | 縄文海進が進み漁撈活動が盛んになる<br>落葉広葉樹林が広がる<br>磨石・石皿・凹石が多くなる   |  |   |
| 約5,000年前  | 縄文後期         | 川内袋遺跡(鶴岡市)<br>天矢場遺跡(南陽市)   | 押出遺跡(高島町)<br>一ノ坂遺跡(米沢市)<br>西ノ前遺跡(舟形町)<br>水木田遺跡(最上町)<br>熊ノ前遺跡(山形市)  | エーゲ海文明始まる<br>楔形文字が使われる   |   |
| 約3,000年前  | 弥生時代         | 加藤屋敷遺跡(南陽市)  | 川口遺跡(村山市)<br>泥部遺跡(上山市)<br>宮の前遺跡(村山市)<br>作野遺跡(村山市)<br>神矢田遺跡(遊佐町)  | ピラミッドが作られる<br>殷王朝がおこる<br>ソクラテスが死ぬ<br>孔子生誕  |   |
| 約2,300年前  | 弥生時代         | 上大作裏遺跡(南陽市)  | 北柳1・2遺跡(山形市)<br>生石2遺跡(酒田市)<br>百刈田遺跡(南陽市)   | アレクサンダー大王遠征<br>カエサル暗殺<br>ゲルマン民族大移動   |   |
| 約1,700年前  | 古墳時代         | 川前2遺跡(山形市)<br>興屋川原遺跡(鶴岡市)<br>玉作1遺跡(鶴岡市)<br>矢馳A遺跡(鶴岡市)<br>岩崎遺跡(鶴岡市)   | 畑田遺跡(鶴岡市)<br>廻り屋遺跡(白鷹町)<br>西沼田遺跡(天童市)<br>物見台遺跡(中山町)<br>天神森古墳(川西町)<br>稲荷森古墳(南陽市)<br>寶領塚古墳(米沢市)<br>菅沢古墳(山形市)<br>大塚天神古墳(山辺町)<br>お花山古墳(山形市)  | 畿内の土師器が全国にひろまる<br><b>県内最大の前方後円墳がつくられる</b><br><br>須恵器がつくれだす<br>稲荷山古墳出土の鉄剣(471年)<br>聖徳太子が摂政となる(593年)<br>十七条憲法を制定(604年)   | 隋王朝がおこる<br><br>ムハンマド生誕<br>唐王朝がおこる                                     |
| 約1,300年前  | 飛鳥時代         | 安久津古墳(高島町)<br>高安窯跡(高島町)  | 安久津古墳(高島町)<br>高安窯跡(高島町)  | 出羽郡が建郡される(708年)<br>出羽柵が設けられる(709年)<br>平城京に都をうつす(710年)<br>出羽国が建国される(712年)<br>東大寺の大仏開眼(752年)   | 李白・杜甫らが活躍   |
| 約1,200年前  | 奈良時代         | 加藤屋敷遺跡(南陽市)<br>天王遺跡(南陽市)<br>上大作裏遺跡(南陽市)<br>檜原遺跡(南陽市)<br>岩崎遺跡(鶴岡市)<br>興屋川原遺跡(鶴岡市)<br>行司免遺跡(鶴岡市)<br>矢馳A遺跡(鶴岡市) | 二色根古墳(南陽市)<br>木和田窯(米沢市)<br>城輪柵跡(酒田市)<br>八森遺跡(酒田市)<br>俵田遺跡(酒田市)<br>山海窯遺跡(酒田市)<br>道伝遺跡(川西町)<br>平野山古窯(寒河江市)<br>小松原窯跡(山形市)<br>泉森窯跡(酒田市)<br>今塚遺跡(山形市)<br>古志田東遺跡(米沢市)                              | 平安京に都をうつす(794年)<br>坂上田村麻呂が蝦夷を平定する<br>続日本紀ができる(797年)<br><b>最上郡が、最上郡と村山郡に分かれる(886年)</b><br><b>鳥海山が噴火する(871年)</b><br>将門・純友の乱(935・939年)<br>藤原氏の全盛(1016年)<br>前九年合戦はじまる(1051年)<br>後三年合戦はじまる(1083年)<br>中尊寺建立(1105年) | カール大帝戴冠<br>楊貴妃が活躍<br>アラビアンナイト成立                                       |
| 約800年前    | 鎌倉時代         | 上の寺遺跡(寒河江市)<br>檜原遺跡(南陽市)<br>天王遺跡(南陽市)<br>下屋敷遺跡(米沢市)<br>堤屋敷遺跡(米沢市)  | 升川遺跡(遊佐町)<br>七日台墳墓群(鶴岡市)<br>執行坂窯跡(鶴岡市)<br>大橋遺跡(遊佐町)<br>柳沢A遺跡(鶴岡市)<br>小田島城跡(東根市)<br>藤島城跡(鶴岡市)<br>左沢楯山城跡(大江町)<br>亀ヶ崎城跡(酒田市)<br>山形城跡(山形市)<br>米沢城跡(米沢市)<br>鶴ヶ岡城跡(鶴岡市)<br>新庄城跡(新庄市)<br>坂ノ上遺跡(山形市) | 鎌倉に幕府をひらく(1192年)<br>蒙古襲来<br>南北朝の動乱(1336年)<br><br>京都に幕府をひらく(1338年)<br><b>斯波兼頼が山形へ入部</b><br>種子島に鉄砲が伝わる(1543年)<br>織田信長安土城を築く(1576年)<br>豊臣秀吉の天下統一(1590年)<br>関ヶ原の戦い(1600年)  | マグナカルタ制定<br>チンギスハーン征西<br>ダンテの神曲<br><br>明王朝がおこる<br>ルネサンス全盛<br>マゼラン世界一周 |
| 約650年前    | 中世           | 上の寺遺跡(寒河江市)<br>檜原遺跡(南陽市)<br>天王遺跡(南陽市)<br>下屋敷遺跡(米沢市)<br>堤屋敷遺跡(米沢市)  | 升川遺跡(遊佐町)<br>七日台墳墓群(鶴岡市)<br>執行坂窯跡(鶴岡市)<br>大橋遺跡(遊佐町)<br>柳沢A遺跡(鶴岡市)<br>小田島城跡(東根市)<br>藤島城跡(鶴岡市)<br>左沢楯山城跡(大江町)<br>亀ヶ崎城跡(酒田市)<br>山形城跡(山形市)<br>米沢城跡(米沢市)<br>鶴ヶ岡城跡(鶴岡市)<br>新庄城跡(新庄市)<br>坂ノ上遺跡(山形市) | 徳川家康江戸に幕府をひらく(1603年)<br><b>最上氏改易(1622年)</b>  | ガリレオ地動説を唱える<br>東インド会社設立   |
| 約400年前    | 近世           | 上の寺遺跡(寒河江市)<br>檜原遺跡(南陽市)<br>天王遺跡(南陽市)<br>下屋敷遺跡(米沢市)<br>堤屋敷遺跡(米沢市)  | 升川遺跡(遊佐町)<br>七日台墳墓群(鶴岡市)<br>執行坂窯跡(鶴岡市)<br>大橋遺跡(遊佐町)<br>柳沢A遺跡(鶴岡市)<br>小田島城跡(東根市)<br>藤島城跡(鶴岡市)<br>左沢楯山城跡(大江町)<br>亀ヶ崎城跡(酒田市)<br>山形城跡(山形市)<br>米沢城跡(米沢市)<br>鶴ヶ岡城跡(鶴岡市)<br>新庄城跡(新庄市)<br>坂ノ上遺跡(山形市) | 清王朝がおこる<br>アメリカ独立<br>フランス革命<br>リンカーンが黒人解放  |   |